



あした

明日もしあわせ通信 (第42号)

子ども総合センターたより
令和元年12月

さびしいのは いやだったんだ

家族と一緒に穏やかに暮らしていた‘彼’。隣近所の人からもかわいがられていた‘彼’。事情があって家族から少し離れたところで暮らさざるを得なくなりました。一人ぼっちにされて、どうしていいか分からなくなったのでしょうか。途端に荒れ始めました。会いに行くと、穏やかで愛想のいい表情は消え、興奮状態。態度や声まで変わっていました。環境が変化すると、こうまで変わるのか、とても驚きました。後ろ髪を引かれつつその場を去りました。

ある雨のそぼ降る日、家出。心当たりのところへ電話したり、車に乗って当てもなく探したりしました。よからぬ人に連れて行かれた？交通事故？心配ばかりが募ります。5日後、心ある方に出会って、その方の家にいることが分か

りました。迎えに行くと、うれしさが爆発。いつもの‘彼’の表情に。でも、しばらくすると再び家出。その後3回家出をしました。

あれから2年。今、‘彼’は、落ち着いています。それは、家族と一緒に元通りの生活に戻ったから…。

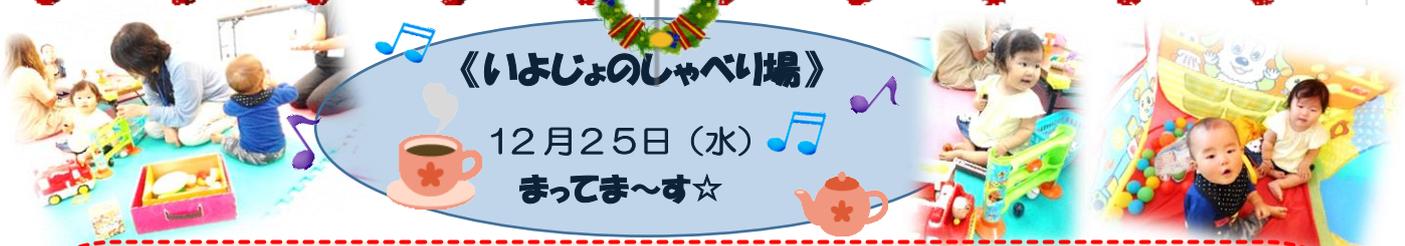
‘彼’……我が家の愛犬「しろ」8歳、オスの雑種。散歩をしながら時折あの4回の家出のことを思い出します。ごめんね、そばにいてあげなくて不安にさせたね、さびしかったね、犬だって家族と一緒に暮らしたいんだよね、犬だって誰かと心を通わせて生きていきたいんだよね、心の中でわびています。

(W)



《いよじょのしゃべり場》

12月25日(水)
まてま〜す☆



適応指導教室 ～野外活動より～

10月25日、えひめ森林公園で野外活動を行いました。

「野外ならではの活動を」ということで、竹を使った「箸作り」に挑戦しました。切り出しナイフを使って、細く割った竹を少しずつ削り、箸の形に整えていきました。青空教室で指導員も含め、全員が夢中で作業に取り組み、各自素敵な「マイ竹箸」を完成させました。

昼食は、飯盒炊飯とバーベキューです。「飯盒のご飯、おいしい」「飯盒によって味が違う」と何度もおかわりをして、ご飯もバーベキューの肉や野菜も完食。「マイ竹箸」も大活躍。そして、後片付け…。

今回何より驚いたのは、後片付けに取り組む子どもたちの姿勢でした。食器を「洗う」、「拭く」、「乾かす」などの作業を分担したり、活動で使った道具類を整理したりと、一人一人がやるべきことを考え、一生懸命作業する姿に感動しました。

教室の中だけでは分からない様々な子どもたちの姿を、野外活動で見ることができました。子どもたちは、「やればできる。まかせればできる。」ということを改めて実感した貴重な一日でした。



(竹箸を作る様子)



(食事の準備)

令和元年度 子ども子育て相談事業のお知らせ

伊予市では、市内に在住する保護者を対象にして、専門相談員による子育てに関する相談を毎月開催しています。子どもの発達に関する不安や不登校相談など心配なことがありましたら、子ども総合センターまでご連絡ください。

子ども総合センターの相談員による相談も随時行っておりますので、お気軽にご連絡ください。

相談はすべて予約が必要ですので、事前にお電話でお問い合わせください。

予約受付は子ども総合センター（989-6226）です。電話受付時間は、平日の午前8時30分～午後5時です。

<相談員>

吉松靖文先生（愛大教育学部教授）

友沢祐一先生（元県立第三養護学校長）

中野広輔先生（愛大教育学部准教授・医学博士）

<開催時間> 午前9時30分～午前11時30分

<開催場所> 子ども総合センター ほか

開催日	専門相談員
令和元年12月3日（火）	中野先生
令和2年1月14日（火）	友沢先生
令和2年2月26日（水）	吉松先生
令和2年3月3日（火）	中野先生

<センター長のつぶやき>

～人生で一番大事なこと～

先月NHKニュースで、2018年ノーベル平和賞を受賞したデニ・ムクウェゲ医師（性暴力と戦う）の訪日を伝えていた。氏は大学の講演で「世界はつながっている。世界のどこかが苦しんでいるときに無関心でいるのは論外」「人生で一番大事なことは、自分のことだけを考えないということ」などと語っておられた。

学生も「自分に関係のあることだと捉えていくことが大切」「周りの友達とか家族に伝えていくことが今の私ができること」などの感想を述べていた。

ニュースのあった次の日、私は右足首を骨折した。ギプスがある間は、車に乗ることができない。そこで職場のみんなが、月曜はだれ、火曜日はだれと、順番で私を送り迎えする計画をたててくれた。「人生で一番大事なこと」を考えてくれた職場のみんなに感謝しつつ、この心が、家族や近隣に充満し、地域に職場にと広がりゆくことを願う昨今である。

DOI-G

「運動会は子どもを成長させる」

10月の巡回相談ではうれしいことがたくさんありました。運動会の踊りを是非見てもらいたいと、わざわざ子どもたちが鳴子を用意し、その踊りを披露してくれたのです。自信に満ちた表情や真剣な眼差しの可愛い姿にとっても心打たれました。「感動したよ、ありがとう」と言うと、満面の笑顔が返ってきました。数か月前の幼かった子どもたちは、逞しく成長していました。

別の園では、発達に遅れがあるかもしれないと相談があったA君が、先生の隣でしっかり踊っていました。練習を繰り返し、並ぶ順番を覚え、周りの友だちを見ながら動きを合わせることができたA君ならもう大丈夫！と安心した瞬間です。

かけっこで負けて大泣きする子、しんどいから嫌だと言っていた子も、先生方の声掛けに我慢して頑張ります。園長先生は「運動会が終わるとどの子も成長を感じます」とおっしゃいます。これからも大好きな家族や園の先生方に見守られ褒められて育っていくことでしょう。

「いつも見ているよ」のアイコンタクトを送りながら。

巡回相談員（K）

伊予市子ども総合センター

伊予市尾崎3-1 ☎989-6226

（伊予市総合保健福祉センター2階）